

令和6年度 愛知県臨床検査精度管理調査報告 細胞検査部門

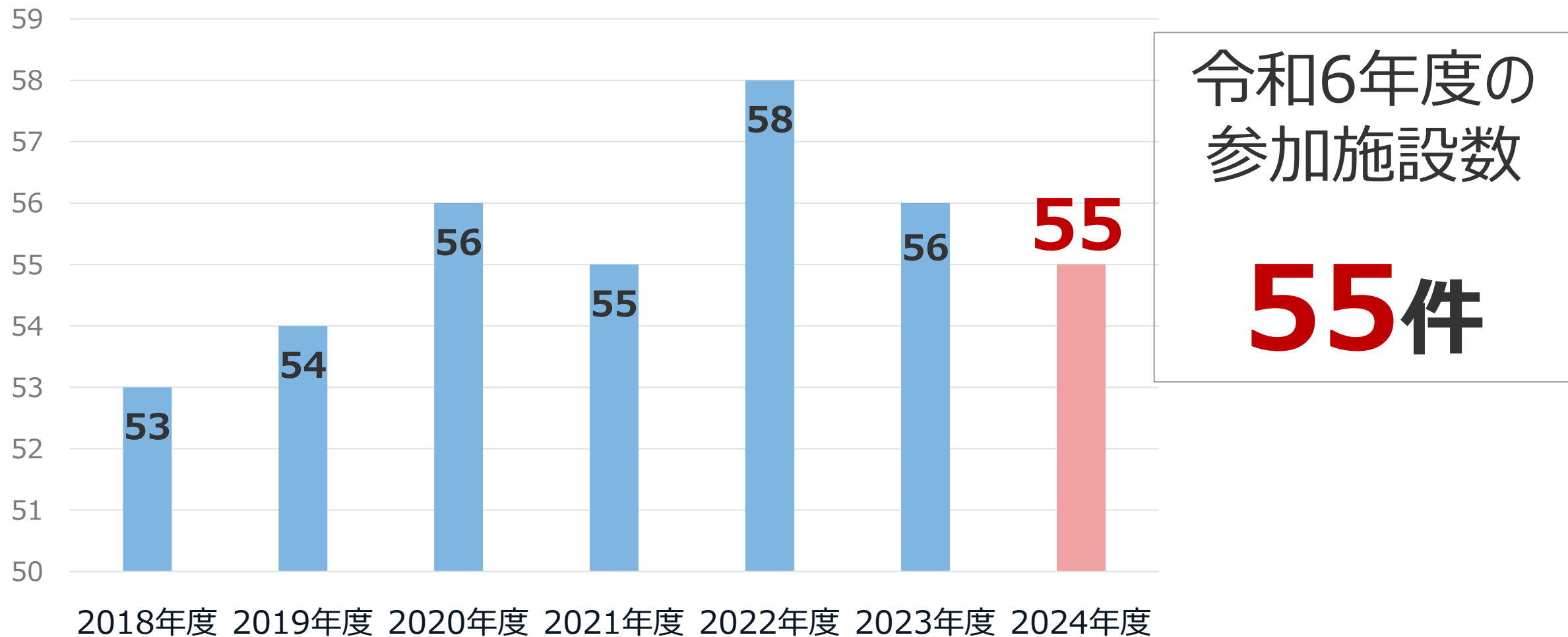
2025年3月9日（土）

JA愛知厚生連 海南病院

水谷 三希子

COI開示：本発表に際し、開示すべきCOIはありません

令和6年度細胞検査部門フォトサーベイ参加施設



細胞検査部門フォトサーベイ

- 問題

評価対象問題を10題出題

- 回答方式

写真から推定される病変を5つの選択肢から選択する

- 評価方法

正解を「評価A」とし、不正解を「評価D」と設定した

設問内容について

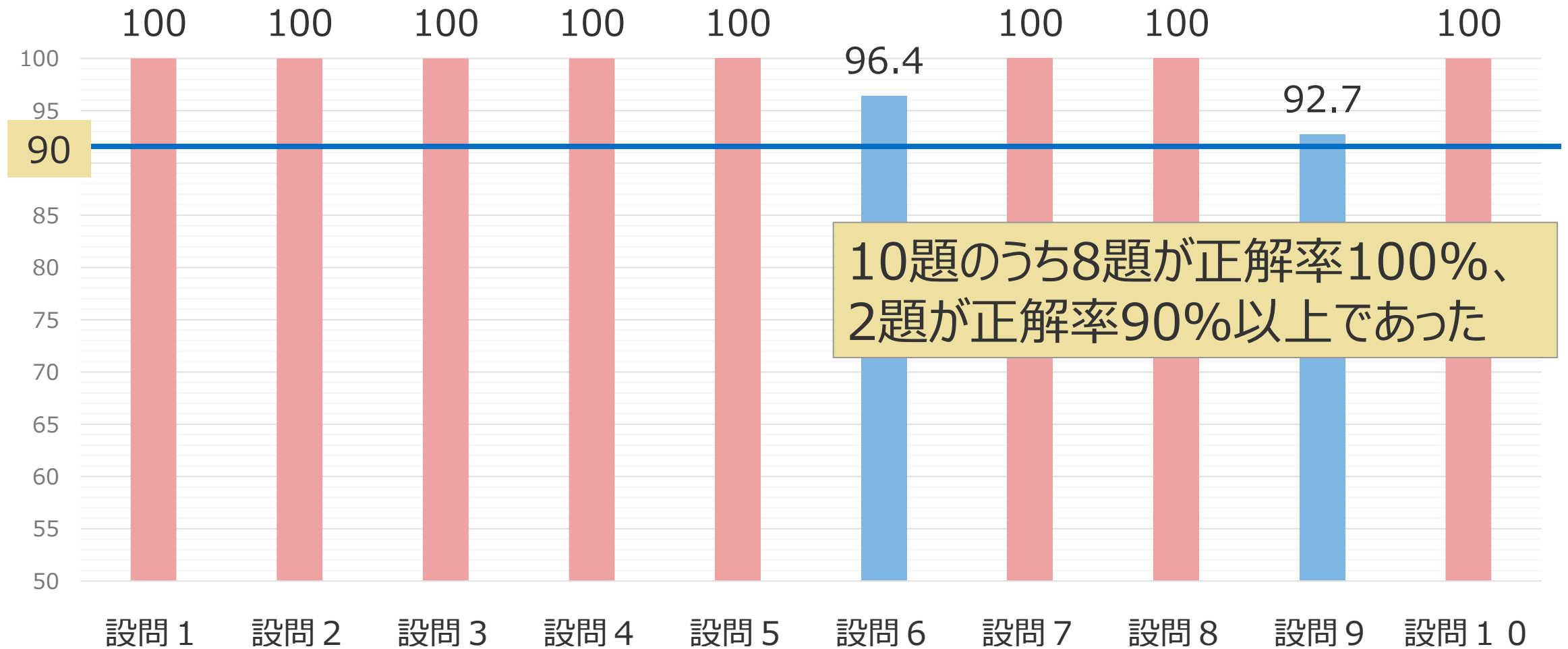
評価問題10題

子宮腔部	2問	甲状腺	1問
呼吸器	2問	乳腺	1問
体腔液	1問	泌尿器	1問
耳下腺	1問	脳脊髄液	1問

設問解答

設問1	ヘルペス感染	設問6	ワルチン腫瘍
設問2	SCC：扁平上皮癌	設問7	乳頭癌
設問3	腺癌	設問8	浸潤性乳管癌
設問4	カルチノイド腫瘍	設問9	高異型度尿路上皮癌
設問5	小細胞癌	設問10	非ホジキンリンパ腫

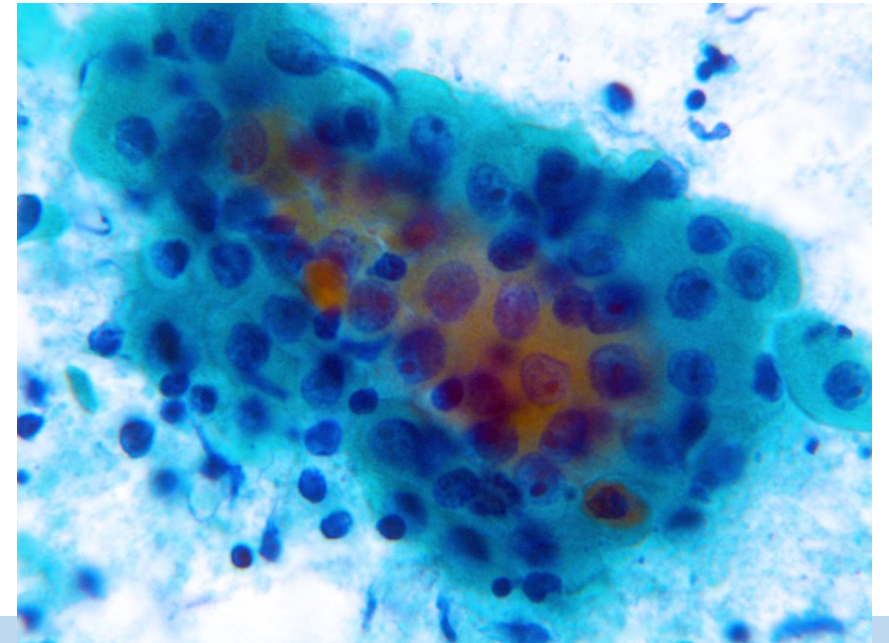
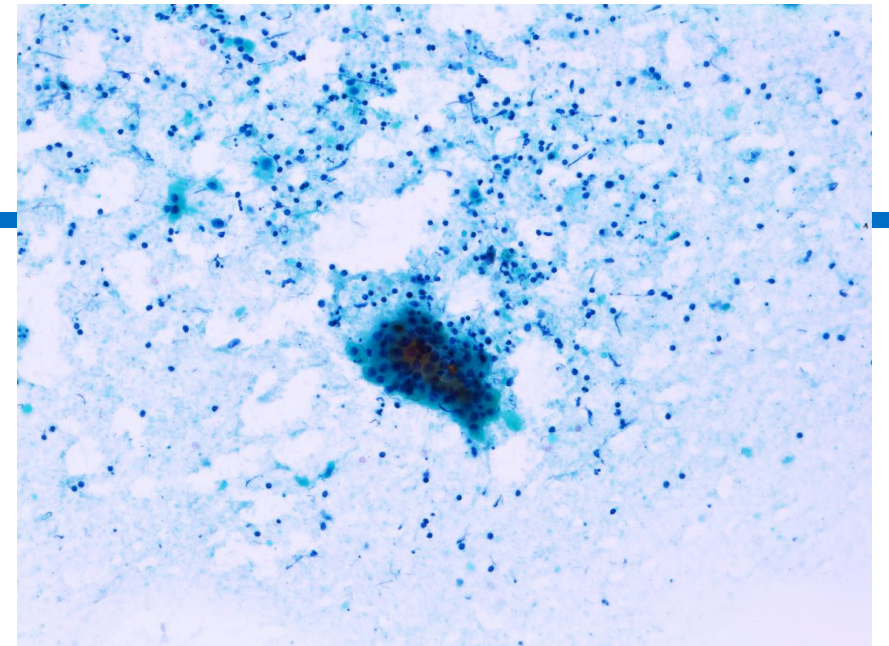
正解率

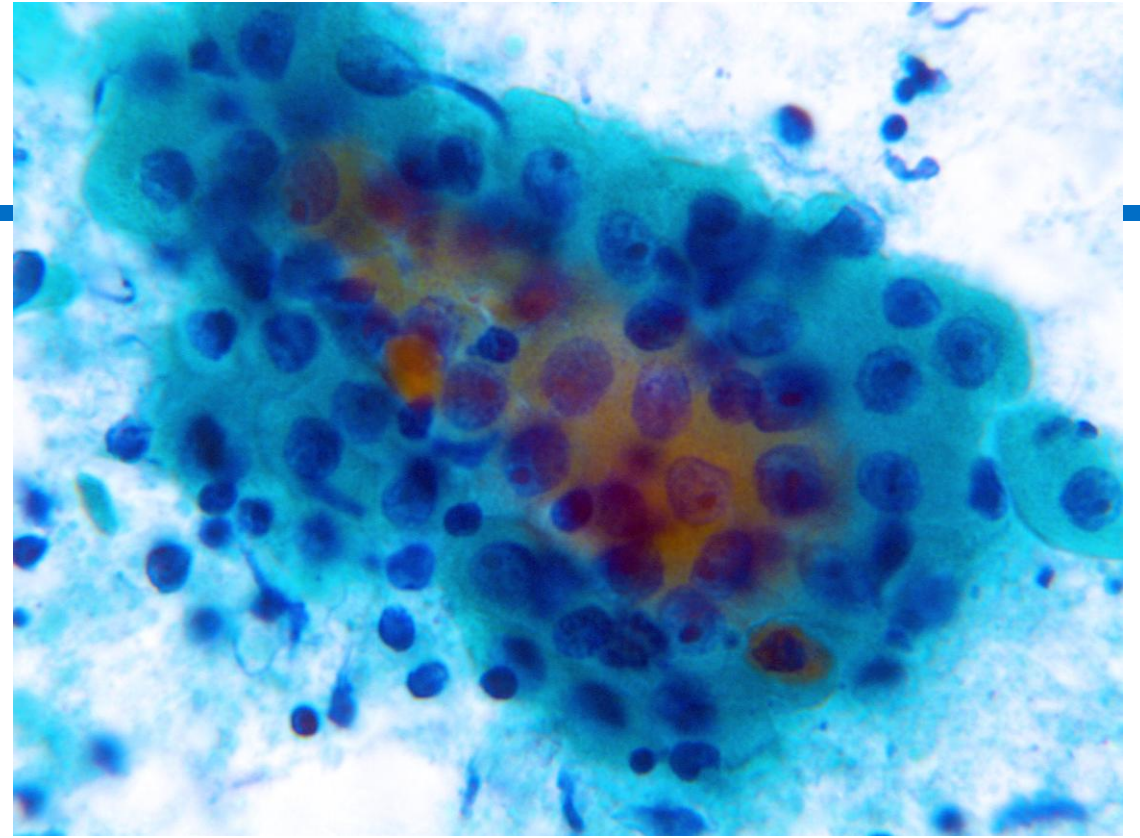
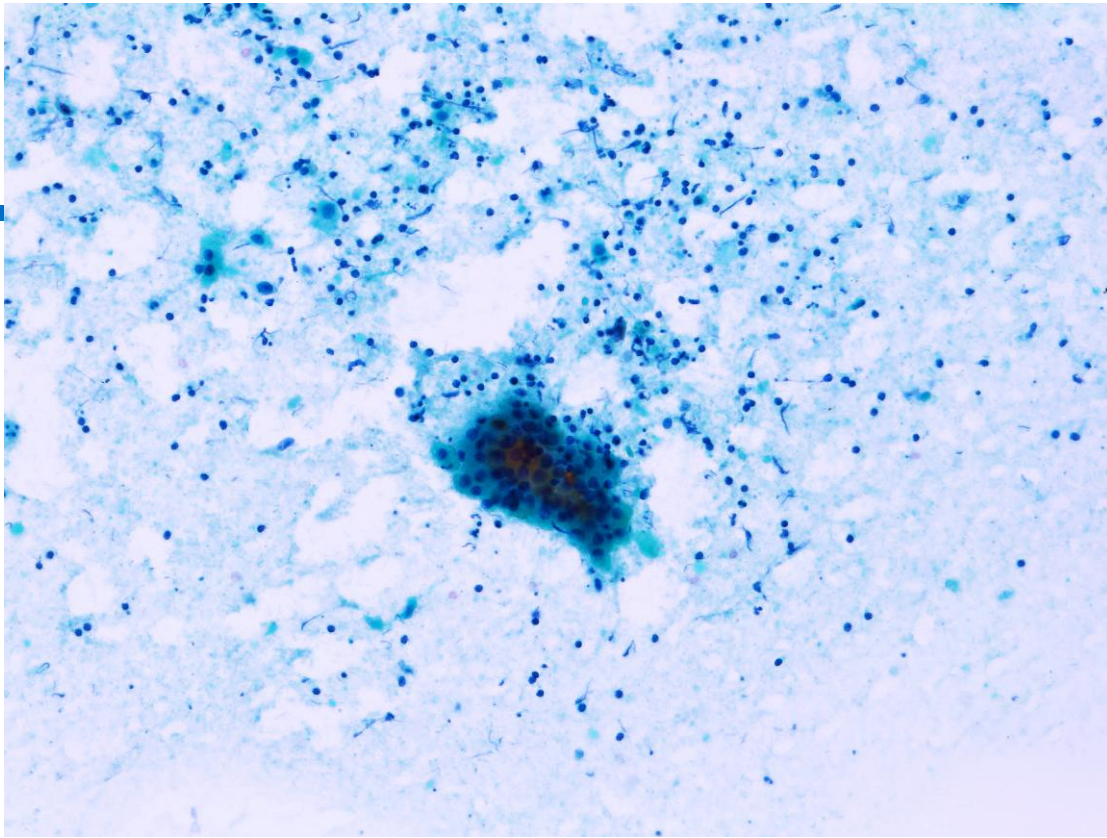


設問6

- 年齢 : 80代
- 性別 : 男性
- 臨床所見 : 左耳下腺腫脹
- 検体 : 耳下腺穿刺吸引

選択肢	回答率(%)
a.多形腺腫	0.0
b.ワルチン腫瘍	96.4
c.粘表皮癌	0.0
d.腺房細胞癌	0.0
e.唾液腺導管癌	3.6



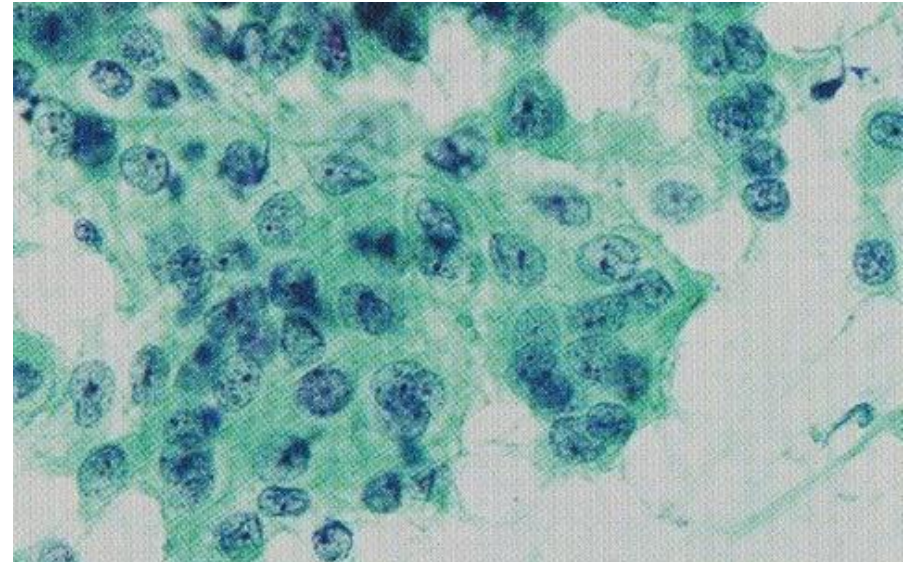
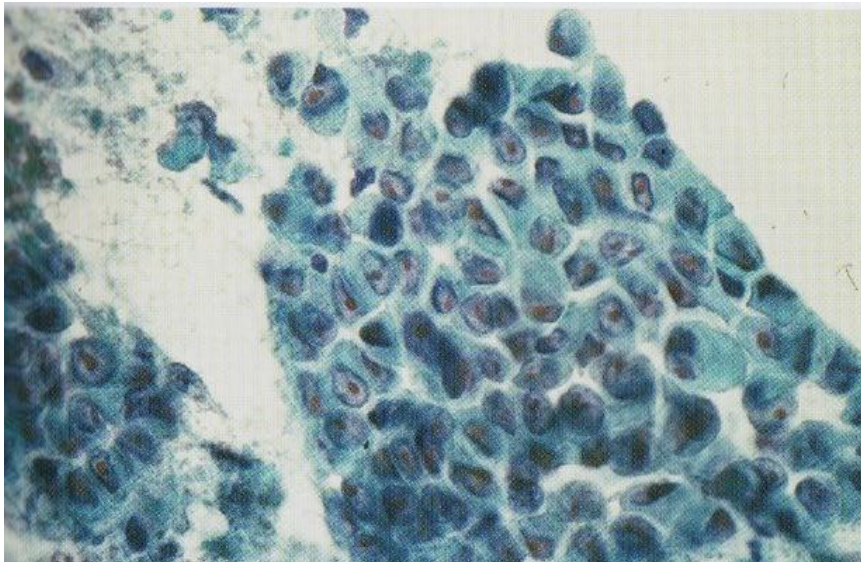


【正解】 b.ワルチン腫瘍

壊死物質や小型リンパ球の混在した汚い背景に、好酸性で顆粒状の広い細胞質を有するシート状の細胞集塊を認める。核は小型類円形で均一であり、N/C比は低く異型は乏しい。また、集塊内において配列不整はみられない。

唾液腺導管癌

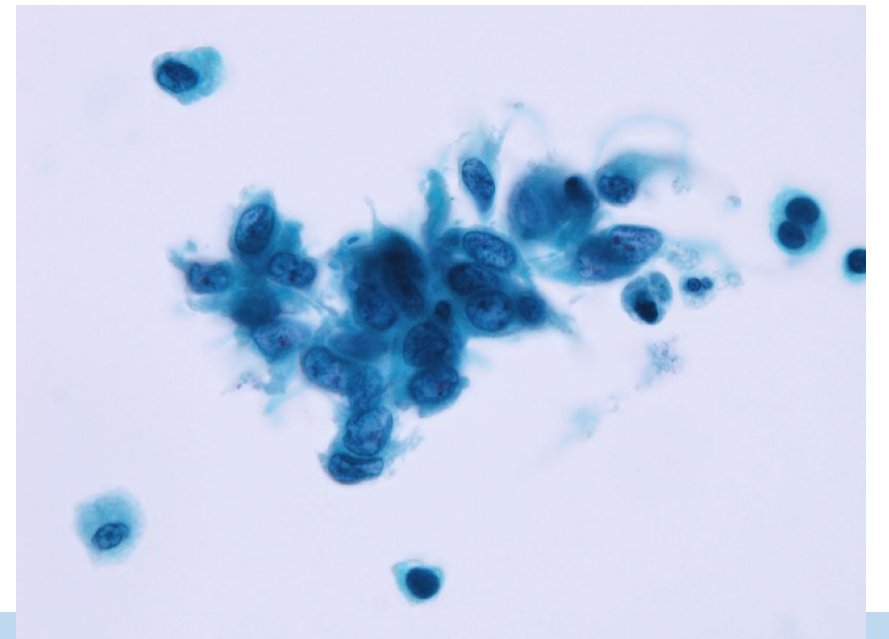
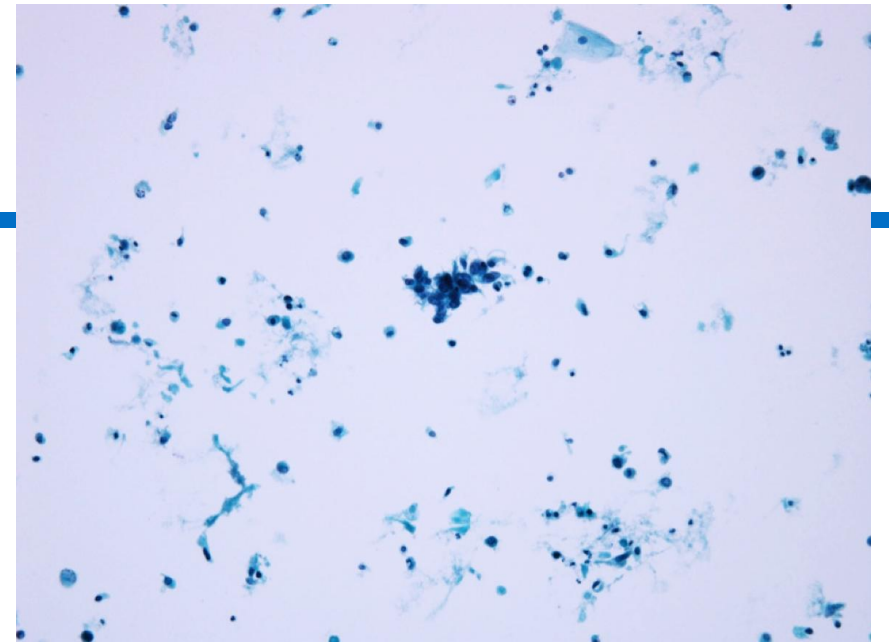
- 壊死性背景に乳頭状～篩状構造の立体的集塊またはシート状集塊にて出現
- 多辺形～円柱状の広い好酸性細胞質を有する
- 核は大型で大小不同や核形不整が目立ち、著明な核小体を有する

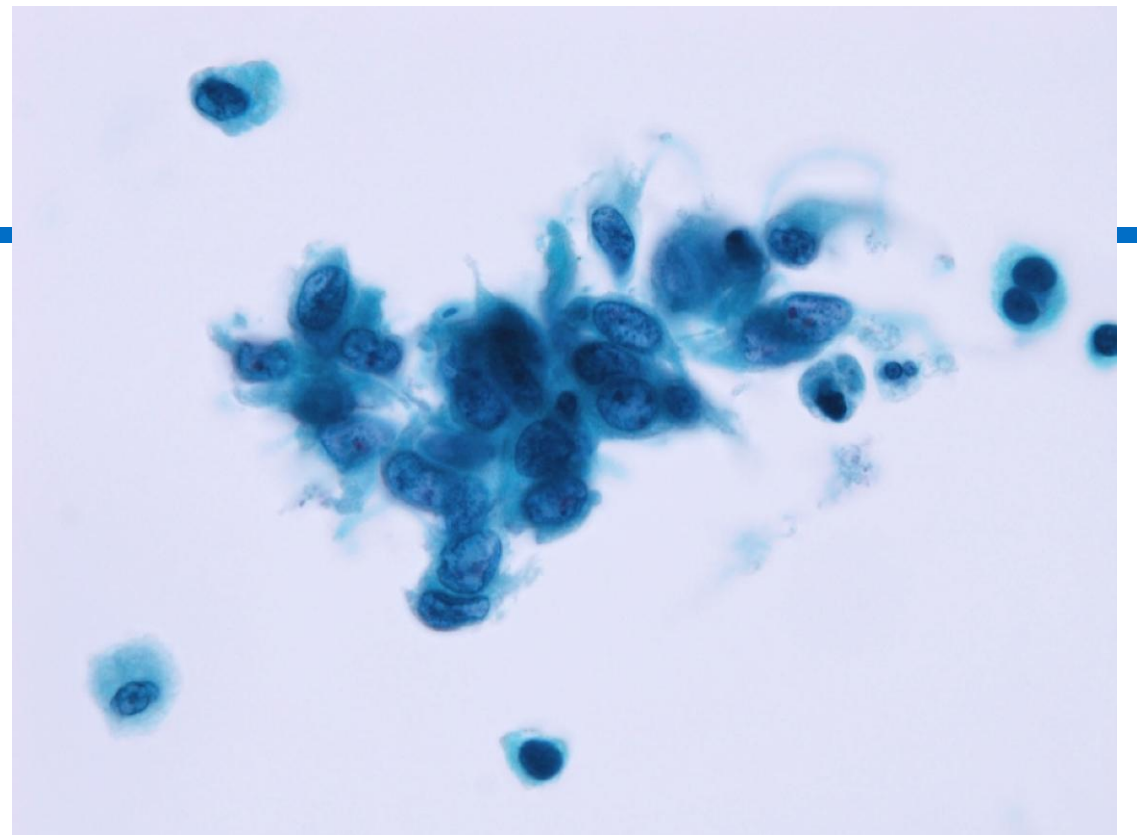
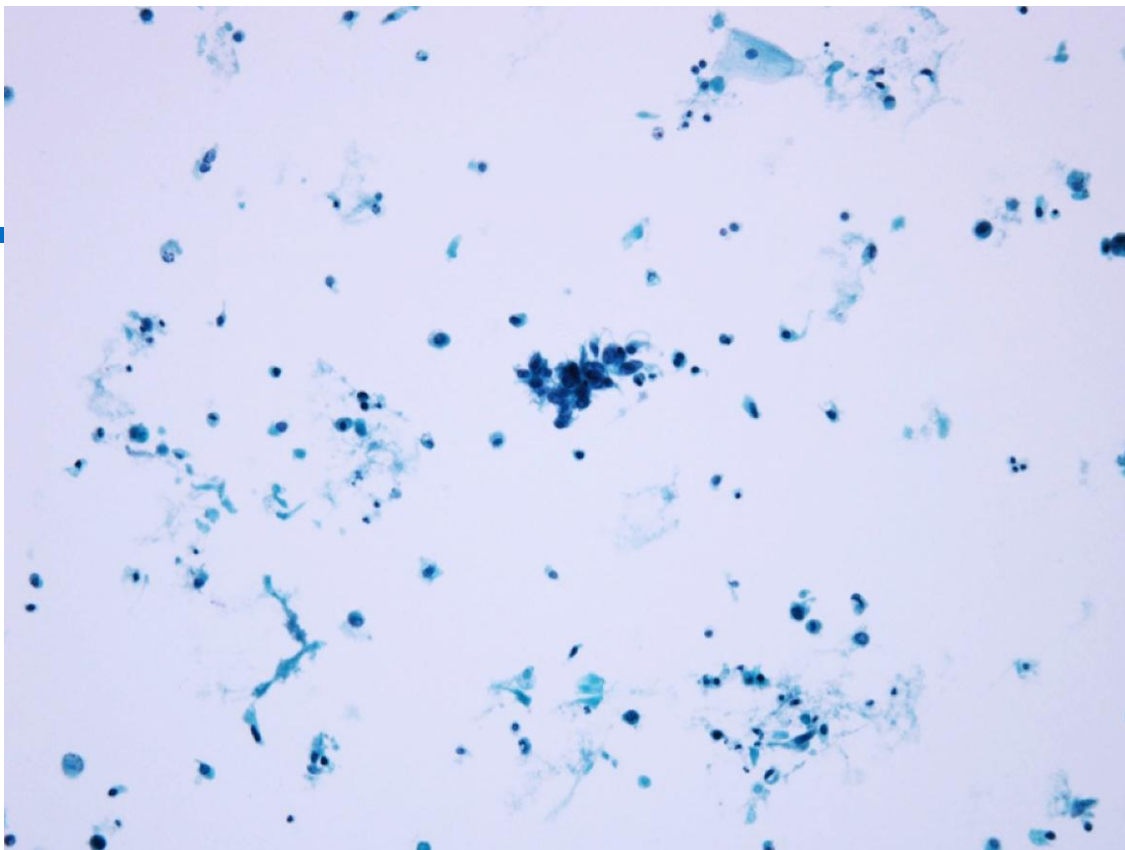


設問9

- 年齡 : 80代
- 性別 : 男性
- 臨床所見 : 血尿
- 検体 : 自然尿 (LBC:ThinPrep)

選択肢	回答率(%)
a.良性尿路上皮細胞	0.0
b.Decoy細胞	0.0
c.低異型度尿路上皮癌	3.6
d.高異型度尿路上皮癌	92.7
e.腺癌	3.6





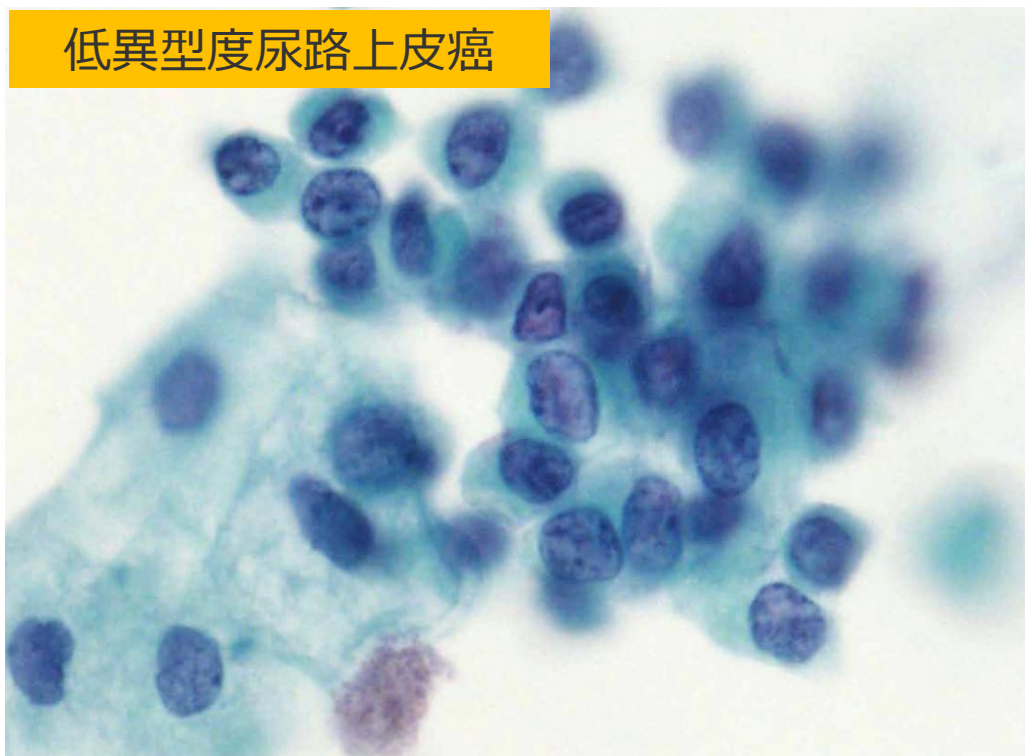
【正解】 d.高異型度尿路上皮癌

壊死性背景に、N/C比が高く多彩な形態を示す細胞を孤在性や結合性の緩い小集塊にて認める。核は偏在性で大小不同や切れ込みなどの核形不整がみられ、核クロマチンは増量し不均等分布を呈する。

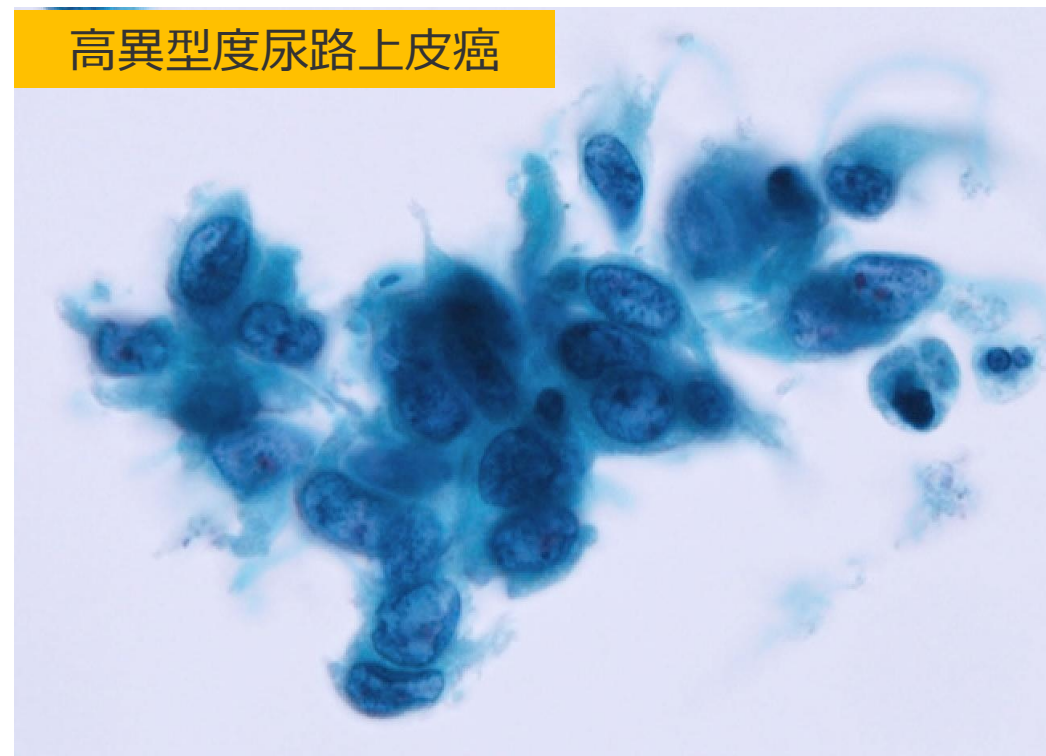
低異型度尿路上皮癌

- 比較的きれいな背景
- 核腫大、核形不整や核クロマチン増量を認めるが、細胞異型は軽度で正常尿路上皮細胞に類似する

低異型度尿路上皮癌



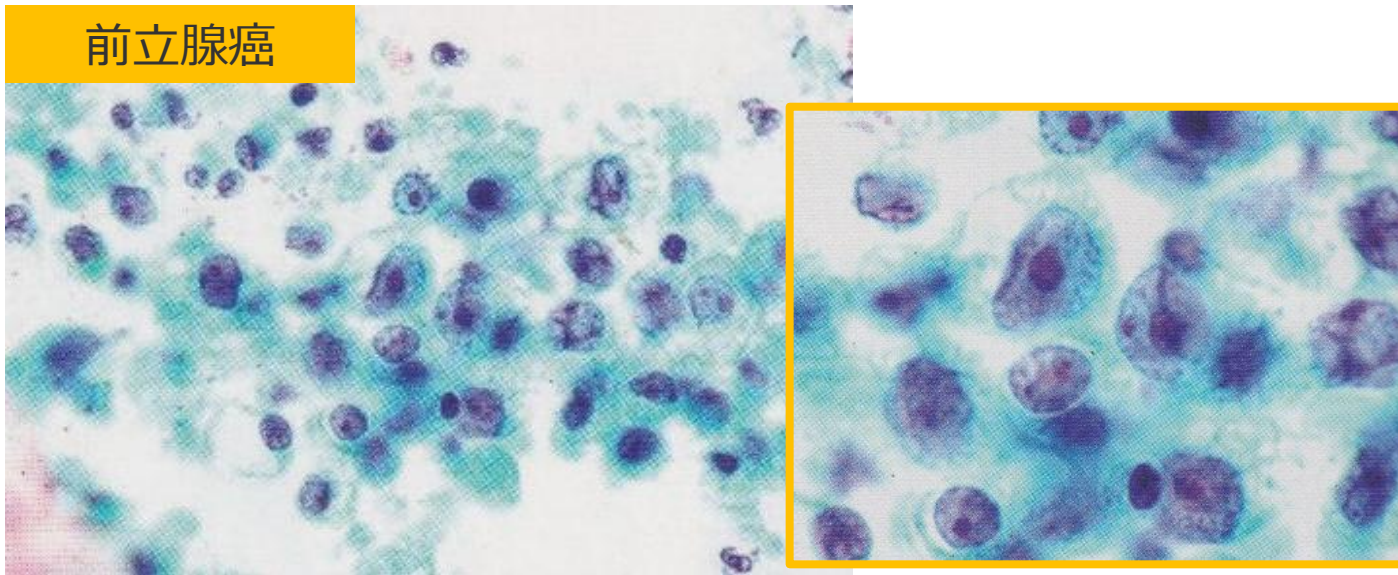
高異型度尿路上皮癌



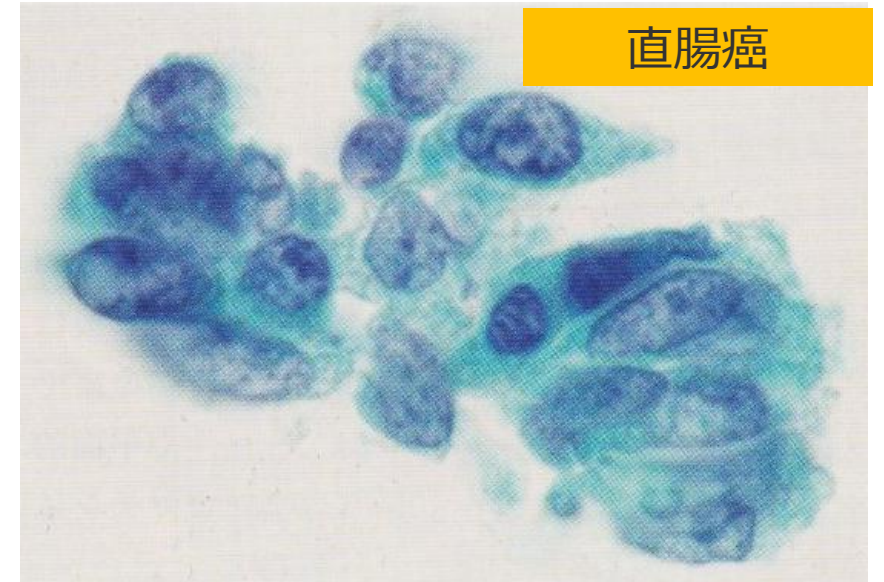
腺癌

- 膀胱原発の腺癌は極めて稀（膀胱悪性腫瘍の1%以下）で、前立腺癌・結腸癌などの二次性腺癌の頻度が高い
- 前立腺癌：細胞質はレース状、類円形の腫大核と大型の核小体を有する
- 結腸癌：円柱状の異型細胞が柵状構造にて出現

前立腺癌

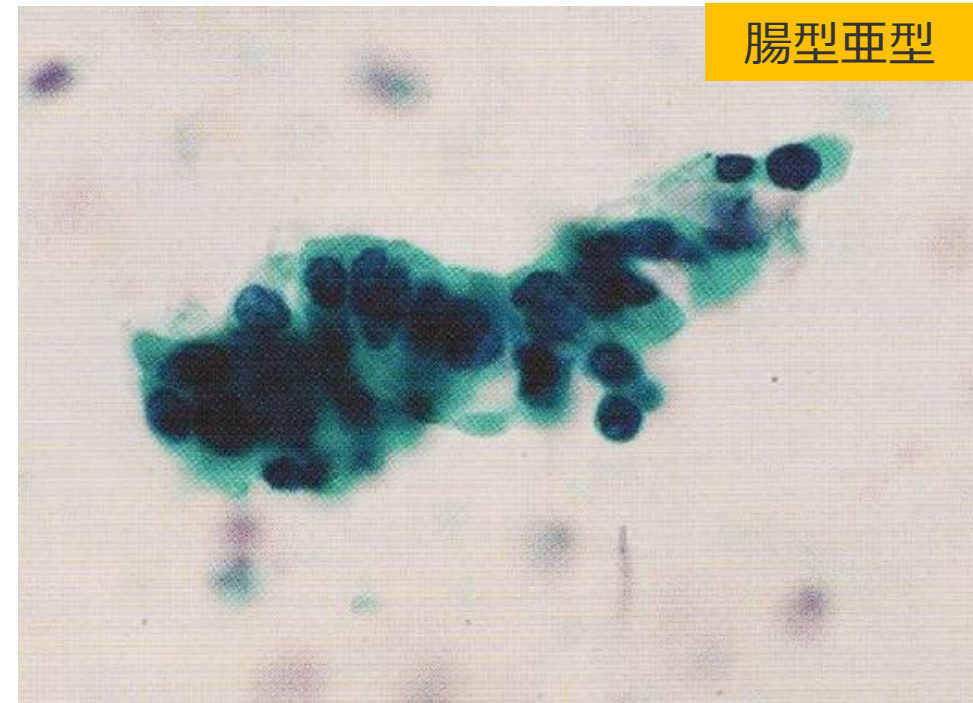
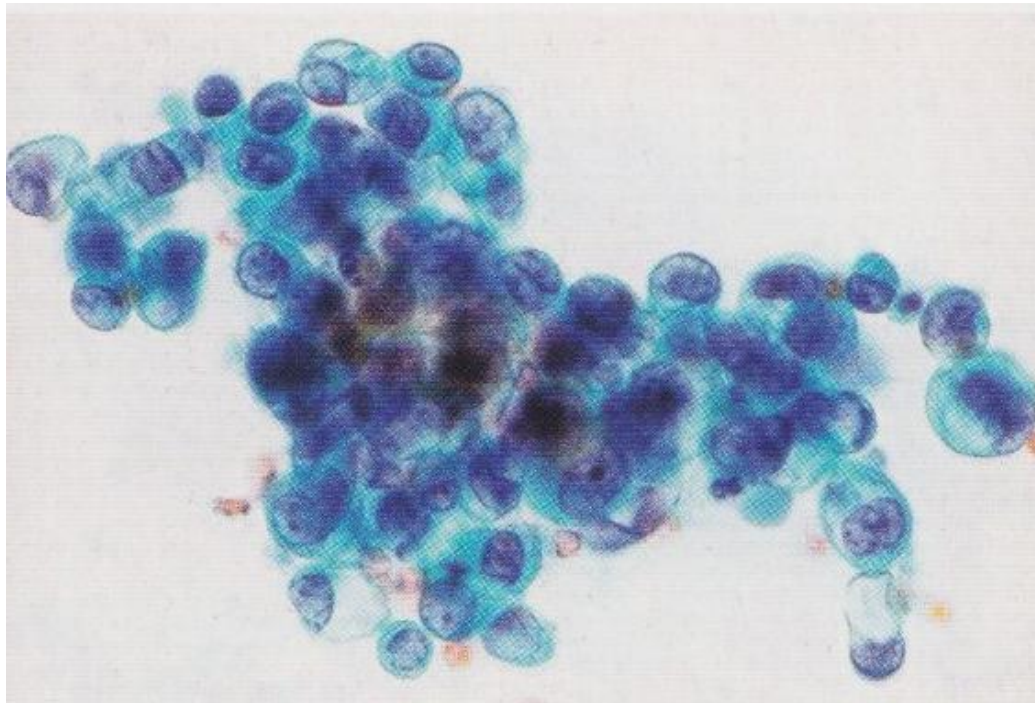


直腸癌



腺癌

- 膀胱原発腺癌：通常型腺癌、腸型亜型・粘液型亜型・印環細胞型亜型・明細胞型亜型がある
- 淡明な細胞質に偏在した核を有する。大型の核小体を一つ認める



参考：写真左 実践細胞診テキスト 初心者からエキスパートまで 第2部 各論 6. 泌尿器 2. 尿路疾患の細胞診 2.5腫瘍性病変 図25b (p317)

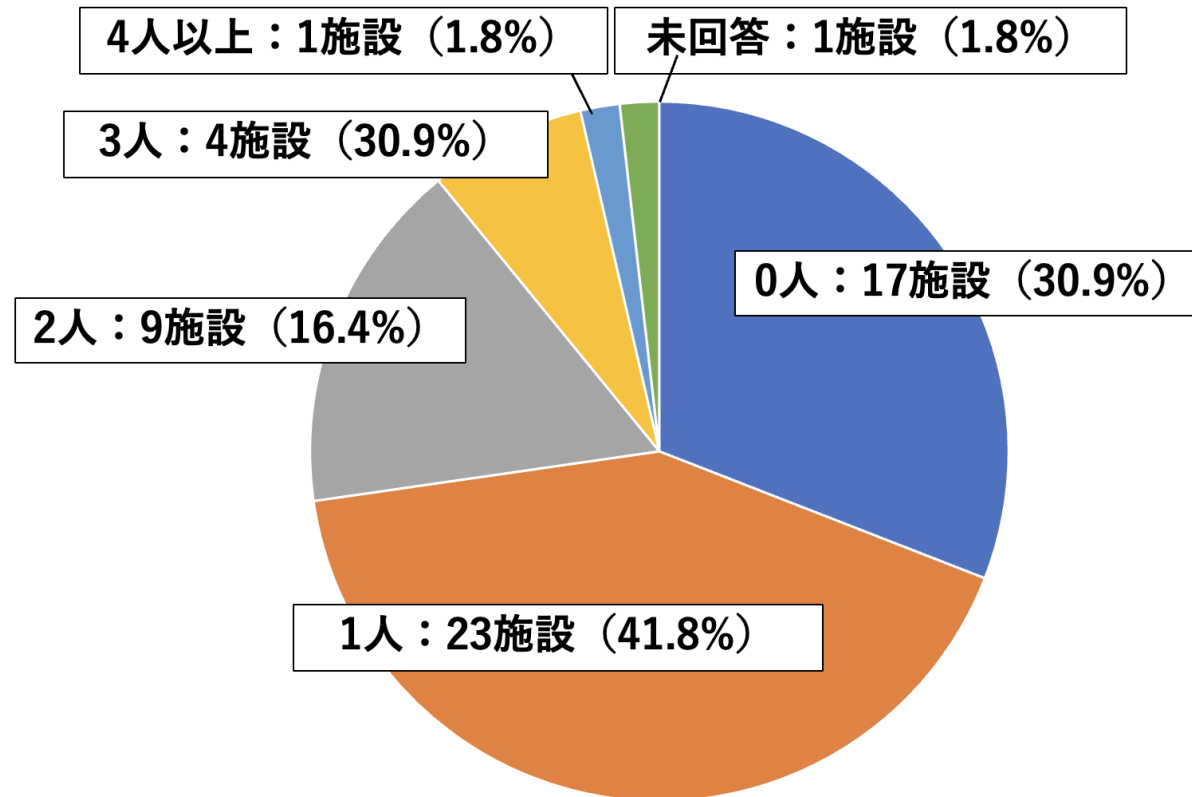
写真右 細胞診鑑別アトラス 第II編 第5章泌尿器 疾患解説 腺癌(2) 図34b (p183)

アンケート調査について

- 細胞検査士教育の実施状況と、染色サーベイに対する意識を調査するためアンケート調査を行った
- 回答施設総数は55施設であった（設問によって回答数が異なる）

アンケート調査報告

- 設問2 貴施設で現在、細胞検査士資格取得に向けて教育中の要員は何名ですか



アンケート調査報告

- 設問5 貴施設の現在の細胞検査士教育体制について、課題や改善が必要だと考えている点がありましたらお答えください

<p>症例数が少ない（6施設） LBCを導入していないため、LBCの試験対策が困難である</p>	<p>教育の時間を確保することが困難（4施設） 業務時間外や休暇を利用して自己研鑽として資格取得に必要な学習・検鏡を行う</p>
<p>教育の体制が整っていない 教育プログラムがない 組織として細胞検査士を育成しようとする意識が欠けている 受験者個人のモチベーション頼りであり、施設としてのバックアップが不十分 指導する側の要員も教育については手探りで経験に基づいた指導になること</p>	<p>資格に対する手当がない 労力に見合った報酬がない</p>
<p>若手の職員に人気がない 組織診との照らし合わせが難しい</p>	

アンケート調査報告

- 設問7 参加を希望されるご施設に伺います。染色サーベイに求めることについてお答えください（複数回答可）。

設問7回答	施設数
染色性の施設間差を知り、自施設の現状把握をしたい	49
他施設の染色プロトコルを知りたい	28
他施設で使用している染色機、染色液についての情報を知りたい	30

まとめ

- 細胞検査部門の精度管理調査として、フォトサーベイを実施した
- 10題のうち、8題が正解率100%、2題が90%以上であった
- 細胞検査士の教育実施状況についてのアンケート調査を行った
- 55施設中37施設で教育中の要員が在籍していたが、症例数や教育の時間の確保についてなど様々な課題を抱えていることがわかった
- 染色サーベイについてのアンケートから、他施設の染色プロトコルや染色液についての情報に興味を示している施設が多かった。また、実施に際して試料の準備や評価方法などを疑問視する意見も寄せられた

今後も、各ご施設の要望に沿った精度管理調査を実施できるよう努めていきます。引き続きご協力いただけますと幸いです。

設問の解説やアンケート調査結果の詳細は
精度管理調査総括集をご確認ください。

本年度も細胞検査部門精度管理調査に
ご協力いただきありがとうございました。